● 中国新聞　2014.12.24

2014年（平成26年）12月24日（水曜日）　中国新聞

初登院に決意新た

比例中国 古田さんと大平さん

国会議事堂前で意気込む大平さん（24日午前9時20分）

初登院し、緊張した面持ちで議員バッジを胸に着けてもらう古田さん（24日午前9時35分）

衆院選を受けた特別国会が24日、召集された。初当選した中国地方選出の新人議員2人が国会に初登院。真新しいバッジを胸に着け、決意を新たにした。2年ぶりに国政復帰した議員も活躍を誓った。（1面関連）

比例代表中国ブロックで議席を得た自民党の古田圭一さん（51）は午前9時20分ごろ、国会議事堂に。下関市で私立高校などを経営する学校法人理事長を務める経歴を生かし、「地方創生には教育環境の充実が不可欠。豊かな人材を育てる支援をしたい」とやる気をみなぎらせた。

2003年に失った比例中国の議席を回復した共産党の大平喜信さん（36）は「ヒロシマを代表し、戦争をする国になる動きに反対する。安全保障関連の法案成立を阻止したい」と抱負を語った。

一方、2年ぶりに赤じゅうたんを踏んだ維新の党の高井崇志さん（45）＝比例中国＝は「国会議員定数の削減など身を切る改革をしっかり進めたい」と強調。前回民主党から出て落選。党を移っての返り咲きに表情を引き締めた。（勝村潤平、坂田茂、山本和明）

● 山口新聞　2014.12.25

「責任ひしひし」

古田議員初登院

比例中国ブロック

特別国会が召集された24日、衆院議事堂前で報道陣の取材に応じる古田圭一衆院議員（51）＝山口県下関市＝。国会中央玄関

に姿を現せた古田氏は、報道陣の取材に囲まれながら議場へ移動。「責任感に応じた仕事をしたい」と抱負を述べた。

当選証書を渡され、議員バッジの支持者を受けた古田氏は「責任の重さをひしひしと感じている。具体的にどう動けばいいのかは手探りだが、期待に応えられる仕事をしたい」と緊張した面持ちで語った。